

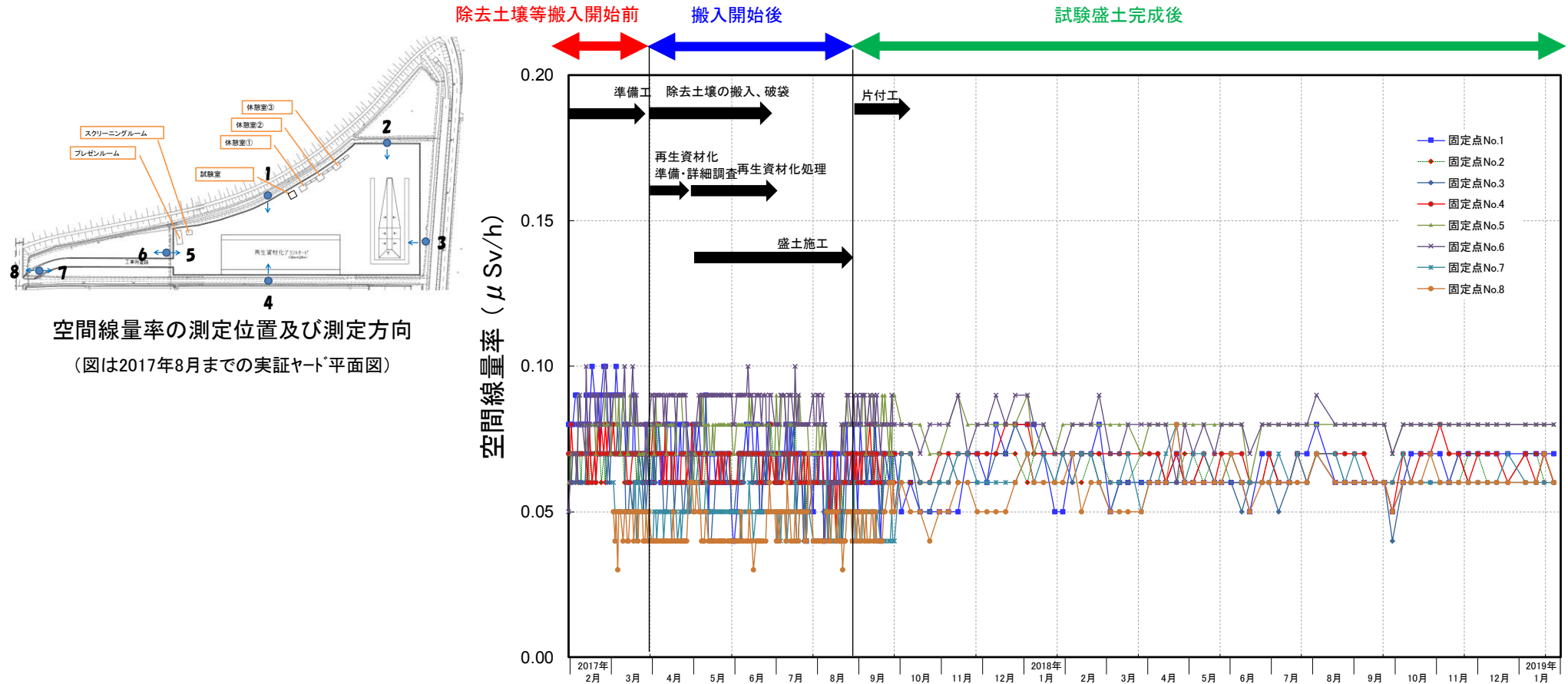
# 実証事業実施場所における放射線等の測定結果

2019年4月4日

# 敷地境界における空間線量率

## 【空間線量率】

- NaIシンチサーベイメータにより、6地点(のべ8方向)での測定を実施。
- 片付工を完了した2017年10月以降は、測定頻度を週1度程度として測定を実施(測定位置は変更なし)。
- 除去土壌搬入・破袋開始前から、空間線量率は概ね0.04~0.09  $\mu\text{Sv/h}$ 程度であり、大きくは変動していない。



空間線量率の測定位置及び測定方向

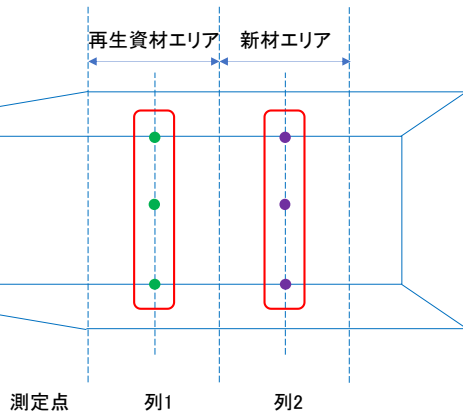
(図は2017年8月までの実証ヤード平面図)

敷地境界 空間線量率

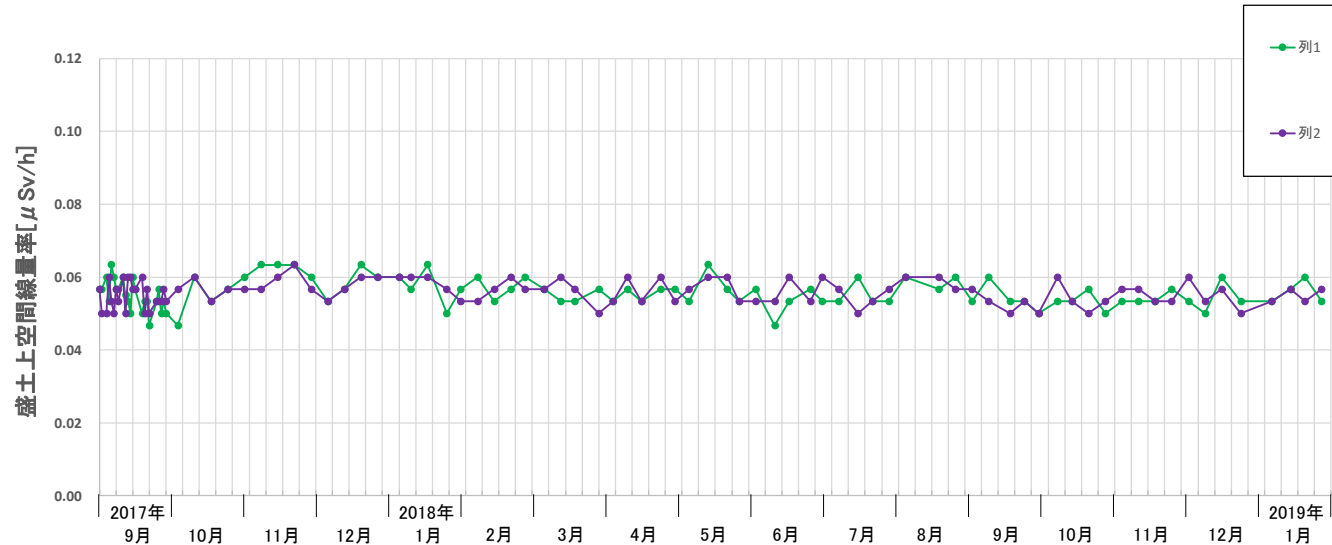
# 盛土周辺の空間線量率

## 【盛土ヤード】

- 2017年8月末に盛土が完成。2017年9月以降、試験盛土上の空間線量率を左下図の位置で測定。
- 再生資材エリア及び新材エリアの測定点の平均値の時系列をグラフ化(右下図)。
- 空間線量率は概ねバックグラウンドの空間線量率と同等の $0.05 \sim 0.06 \mu\text{Sv/h}$ であり、その変動は、敷地境界における空間線量率(概ね $0.04 \sim 0.09 \mu\text{Sv/h}$ )の範囲内である。



盛土における空間線量率の測定点

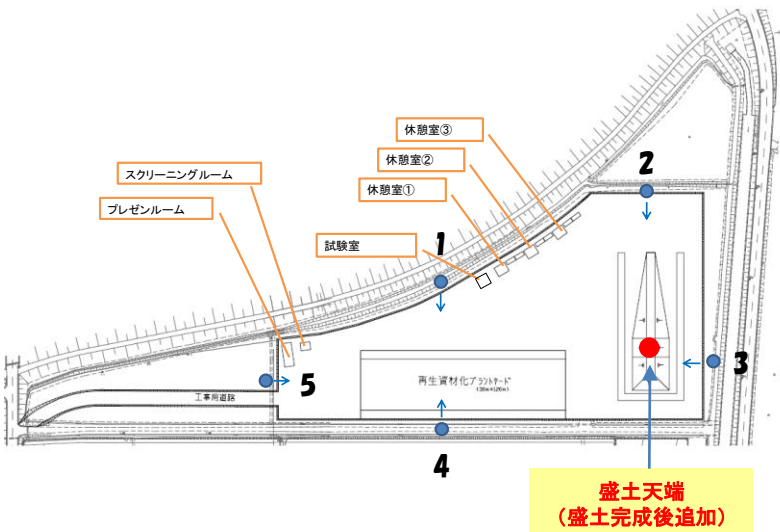


盛土の空間線量率時系列  
(列1及び列2は、各々3箇所の測定点の平均値)

# 大気中放射能濃度

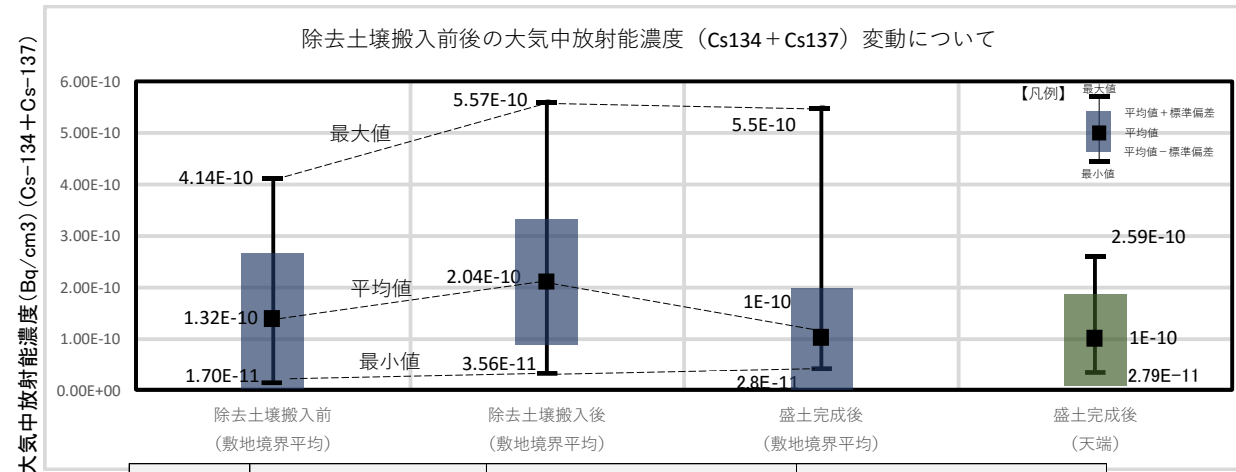
## 【大気中放射能濃度】

- ダストサンプラにより吸引・捕集したダストを、Ge半導体検出器分析により放射能濃度測定。
- 基本的に1週間連続吸引したダストを1検体とし、概ね検出下限値が $5E-11$ Bq/cm<sup>3</sup>程度以下となるよう、Ge半導体検出器による分析時間数を設定。
- 片付工終了後の2017年10月以降は、測定を1ヶ月1検体とし、また、採取場所に盛土天端の再生材エリア中央(図中赤丸)を追加。
- 大気中放射能濃度は除去土壤搬入前から盛土完成以降、2019年1月末までは大きくは変動していない。
- 盛土天端では、敷地境界における測定結果と同程度である。



大気中放射能濃度用ダスト採取位置及び吸引方向

(図は2017年8月までの実証ヤード平面図)



測定箇所	時期	Cs-134濃度 [Bq/cm <sup>3</sup> ]	Cs-137濃度 [Bq/cm <sup>3</sup> ]
敷地境界	搬入前 (2017年4月以前)	2.25E-11 ~ 4.70E-11	1.70E-11 ~ 3.67E-10
	搬入後盛土完成前 (2017年5月~8月)	2.80E-11 ~ 6.27E-11	3.56E-11 ~ 4.98E-10
	搬入後盛土完成後 (2017年9月以降)	3E-11 ~ 5E-11	3E-11 ~ 5E-10
盛土天端	搬入後盛土完成後 (2017年9月以降)	4.52E-11	2.79E-11 ~ 2.59E-10

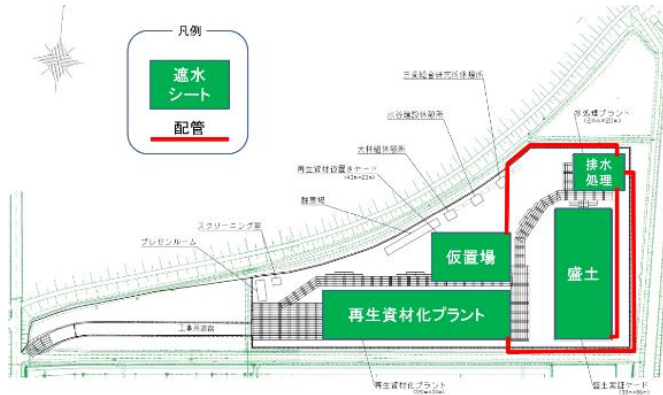
大気中放射能濃度の測定結果(検出下限値を超える測定値の範囲)

# 処理水（排水）（1/2）

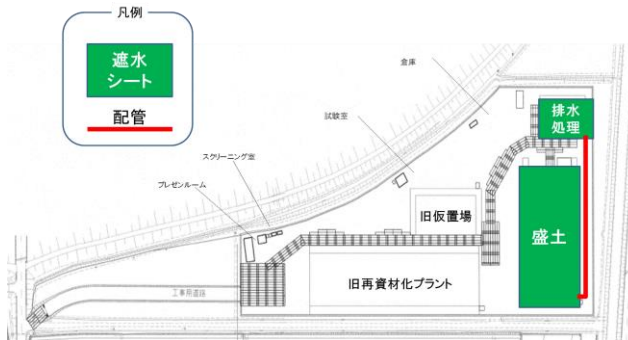
## 【処理水(排水)】

- 降雨等により発生した水等の排水を処理するため、排水処理設備を設置。
- 凝縮沈殿処理、pH調整及び砂ろ過を実施後、南相馬市関連の排水基準に従い、公共水域へ放流。

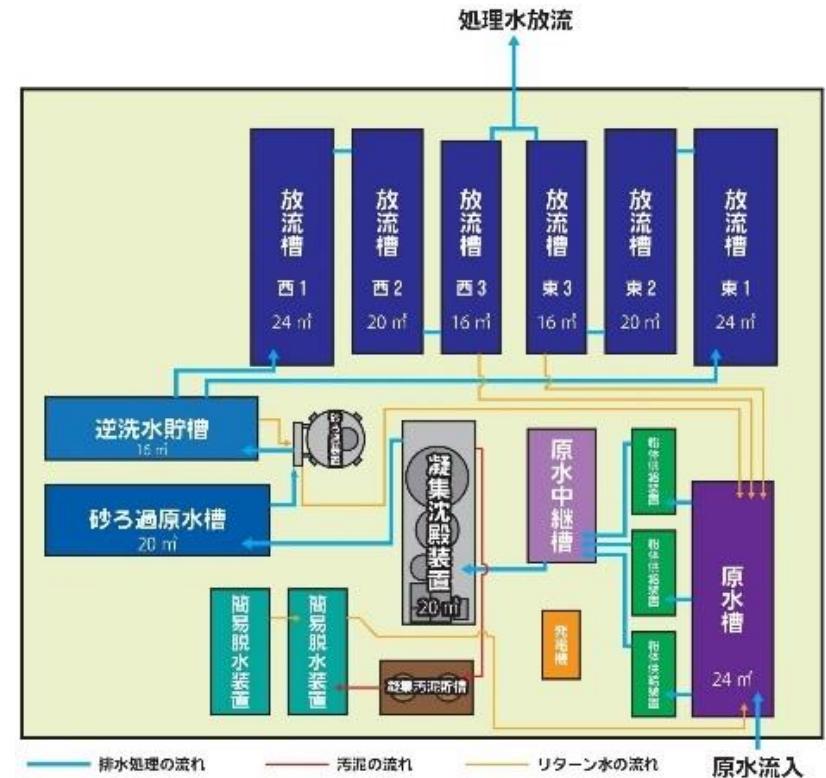
①2017年8月までの実証ヤード平面図



②2017年9月以降の実証ヤード平面図



排水処理設備の設置位置



排水処理設備図

# 処理水（排水）（2/2）

## 処理水の放射能濃度等の測定結果

### 2017年度

項目	4月					5月					6月									
	7日	14日	19日	26日	28日	13日	15日	16日	25日	30日	1日	2日	7日	12日	14日	19日	20日	22日	23日	28日
放射能濃度 (Bq/L)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
検出下限値	4.97	5.44	5.55	5.30	5.43	6.76	7.13	6.62	8.47	5.63	5.57	5.93	5.46	5.50	5.50	5.50	5.57	5.36	5.36	5.63
水素イオン濃度 (pH)	7.69	7.94	7.99	7.85	8.02	7.83	8.56	8.28	7.45	7.29	7.66	8.15	7.56	7.7	7.66	7.86	8.38	8.26	7.92	7.59
浮遊物重量 (SS量)	10.2	8.7	4.6	0.7	3.0	1.6	5.5	4.9	4.4	1.3	7.0	17.9	0.2	0.0	7.4	7.9	11.4	11.4	13.3	3.7

項目	7月					8月					9月					10月			12月	3月								
	3日	4日	5日	18日	19日	24日	25日	26日	28日	31日	2日	8日	9日	21日	31日	7日	19日	20日	28日	29日	20日	30日	31日	22日	7日	9日	15日	27日
放射能濃度 (Bq/L)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
検出下限値	5.53	5.32	5.53	5.99	5.46	5.77	5.57	5.54	5.39	4.48	5.48	5.79	6.48	5.92	5.86	6.03	6.00	6.07	5.98	5.80	5.96	5.90	5.96	6.05	5.90	6.02	5.93	6.02
水素イオン濃度 (pH)	7.46	7.18	7.29	7.74	7.53	7.67	7.52	7.47	8.04	7.64	7.17	7.51	7.30	7.70	7.70	7.71	7.82	7.53	7.63	7.29	7.56	7.85	7.36	7.59	8.18	7.93	8.04	8.13
浮遊物重量 (SS量)	6.8	8.9	14.3	5.7	4.7	3.6	3.7	4.4	0.8	4.4	0.4	6.8	10.5	4.9	1.0	1.2	0.1	1.9	3.2	1.2	4.8	1.5	2.1	0.0	2.5	5.3	3.8	2.2

### 2018年度

項目	4月		5月		6月		7月		8月					9月				10月		
	27日	10日	22日	31日	12日	19日	22日	6日	9日	7日	8日	9日	10日	13日	4日	7日	20日	28日	2日	4日
放射能濃度 (Bq/L)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
検出下限値	5.99	5.77	6.05	5.90	5.83	5.99	5.99	5.90	5.93	6.02	5.80	5.90	5.93	5.96	5.90	6.05	6.05	5.90	6.02	5.99
水素イオン濃度 (pH)	8.35	8.43	8.33	8.22	7.42	7.69	7.69	7.45	7.36	7.53	7.33	7.13	7.13	7.14	8.01	7.17	7.27	6.93	6.87	7.31
浮遊物重量 (SS量)	2.5	0.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0

計測管理項目	単位	放流基準(管理値)
放射能濃度(Cs-134)	Bq/L	60 以下
放射能濃度(Cs-137)	Bq/L	90 以下
水素イオン濃度(pH)	—	5.8~8.6
浮遊物質量(SS量)	mg/L	50 以下

- これまでの放射能濃度の測定では、Cs-134、Cs-137ともにすべてND(検出下限値未満)である。
- 表中に記載の検出下限値はセシウム合計に対する値である。
- 浮遊物重量(SS量)は、ポータブル濁度計での測定値。定期的に別途計量機関で浮遊物重量(SS量)を計測。

なお、各項目の放流基準(管理値)は右表のとおり。

計測管理項目及び放流基準

# 盛土浸透水

## 【盛土浸透水の集水方法】

- 浸透水集水設備により、試験盛土の内部を浸透する雨水等を、再生資材部分と新材部分に分けて盛土底部で集水
- 集水層に溜まった浸透水を、ポンプを用いてタンクに集水・採取

## 【浸透水の放射能濃度(概要)】

- 浸透水の放射能濃度の測定はGe半導体分析器により実施。
- 2017年8月末に盛土が完成し、その後、2017年9月から2019年1月末まで上記の分析結果はすべて**検出下限値未満**。(検出下限値 Cs-134: 0.2~0.293Bq/L、Cs-137: 0.2~0.331Bq/L)
- 再生資材を利用した盛土の浸透水中に含まれる放射性物質の濃度が、検出下限値未満であることを確認した。



浸透水の集水設備の概観